

環境会計の実施について

2008年度は投資額が27.2億円、費用66.9億円、環境保全コストは合計で94.1億円で、環境対策に伴う経済効果は、109.6億円となりました。2007年度と比較すると、環境保全コスト全体では、4億円増加しました。

主な要因は、撤去通信設備の適正処理およびリサイクル費用が増加したためです。

経済効果については、2007年度と比較すると13.2億円

の減少となりました。主な要因は、メタルケーブル等の売却価格が、銅価格の下落により減少したためです。

物流効果の総リサイクル量は、1.48万tの減少となりました。主な理由は、リサイクル率向上と併せて、産業廃棄物の排出量を抑える取り組みを強化したためによるものです。

■環境保全コスト

(単位：億円)

環境省ガイドライン分類	主な活動内容	2008年度		2007年度	
		投資	費用	投資	費用
1. 事業エリアコスト		27.0	61.6	29.2	56.1
	(1)公害防止コスト	0.0	3.3	0.2	4.9
	(2)地球環境保全コスト	27.0	1.9	29.0	2.3
	(3)資源循環コスト	0.0	56.4	0.0	48.9
2. 上・下流コスト	電話帳リサイクル、容器包装リサイクル	0.0	1.0	0.0	1.1
3. 管理活動コスト	ISO14001維持、環境PR	0.2	4.3	0.2	3.5
4. 研究開発コスト	環境関連研究開発	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 社会活動コスト	地域社会への貢献	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 環境損傷コスト	環境損傷の修復	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計		27.2	66.9	29.4	60.7

■環境保全効果(経済効果)

(単位：億円)

項 目	2008年度	2007年度
1. 省エネルギーによる費用削減	8.1	4.9
2. リサイクルにより得られた収入額	21.9	42.8
3. リユース推進に伴う費用削減額	75.1	71.7
・ 撤去通信設備	75.0	71.6
・ オフィス内廃棄物	0.1	0.1
4. 電子化に伴う郵送費削減額	4.5	3.4
合 計	109.6	122.8

■環境保全効果(物流効果)

項 目	2008年度	2007年度
省エネルギー施策によるCO ₂ 排出削減量(万t-CO ₂)	2.0	1.5
総リサイクル量(万t)	32.62	34.1

- 集計対象範囲
 - ・ NTT西日本グループ 51社及び、NTTビジネスアソシエ西日本を対象としています。
- 集計対象期間
 - ・ 2007年度データ：2007年 4月 1日～ 2008年 3月 31日、2008年度データ：2008年 4月 1日～ 2009年 3月 31日
- 集計方法
 - ・ 環境省の「環境会計ガイドライン 2007年版」に準拠した「NTT グループ環境会計ガイドライン 2007」にもとづいて集計しました。